

「第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対するパブリックコメント（意見募集）の実施結果について

「第2期 湧別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対するパブリックコメント（意見募集）を実施したところ、9件の意見の提出がありました。

1. 意見の募集結果

(1) 募集期間

令和3年1月25日（月）から2月24日（水）

(2) 意見総数

9件（3人）

【提出方法】

持 参	5 件
郵 送	－ 件
F A X	－ 件
電子メール	4 件

【取り扱い】

■修 正 素案に追加、修正するもの	－ 件
■掲載済み 既に素案に記載されているもの	－ 件
■参 考 今後、参考とするもの	5 件

2. 寄せられた意見の概要及び実施機関の考え方

(1) 寄せられた意見の概要

①空き家の利活用について

住まいの情報バンクによる情報発信だけでなく、空き家をリノベーションしたゲストハウス、フリースペース、カフェなど、人が集まりコミュニティが生まれるスペースづくりの事例を作れないでしょうか。

②高齢者の就労と社会参加について

具体的には美容院や歯科通院などの短時間でもいいので幼児を預かってくれる人がいると、親御さんはとても助かり、子育て支援に高齢者の方々が関わることができれば、双方にメリットとなります。

また、高齢者に社会参加の機会を提供することをさらに推進していただきたい。

③町の基幹産業である第一次産業について

町の基幹産業である酪農業や農業、漁業にもスポットを当てていただきたい。

また、中高生の職場体験には、地元の企業や商店だけでなく、ぜひ第一次産業を取り入れてください。

④湧別高校による未来計画について

湧高生による未来計画の案づくりや発表の様様を、住民にも公開してほしい。未来のまちづくりについて、若い世代の考えを学び、まちの将来について自分たちの世代も真剣に考えていく時期が来ていると思います。

⑤公営住宅や中古住宅の情報提供について

湧別町への移住者を増やすため、町内の公営住宅や中古住宅の間取りや価格をハガキ1枚につき1～2軒印刷し、退職者だとか本州に転出された50～60代、あるいは札幌近郊に住んでいる人に案内する。

また、ネット時代と言っても限られた人しか見ることができないため、ハガキを町内の各世帯やサロマ湖100キロウルトラマラソン大会などの参加者に配布したり、公共施設に置くなどして、ハガキを知人や友人に送ってもらうことはできないでしょうか。

(2) 寄せられた意見に対する実施機関の考え方

①空き家の利活用を図るため、毎年、町内の空き家の状況を把握し、所有者から売買等の希望があった物件は「住まいの情報バンク」に登録するとともに、本町への移住に関心のある方に実際に暮らしを体験していただくため、空き家の住宅に家具や電化製品をそろえた移住体験住宅を3棟貸出しています。

さらに、空き店舗対策事業として中湧別中町に「住民交流施設さくら」が開設され、町内サークル団体の活動などに利用されています。

今回いただいたご意見については所管課と共有し、空き家等の利活用について有効な方法のひとつとして受け止め、計画の修正は行わず今後の参考にさせていただきます。

②高齢者の就労機会を図るため、高齢者就労センターでは豊富な経験や技能をもった60歳以上の方を会員として臨時的かつ短期的な就業の場を提供しています。

また、高齢者が長年培った豊富な経験、知識及び技能を地域社会に提供する場として、社会教育課では「湧ゆう湧くわく体験塾」や「木工・陶芸教室」などの社会教育事業における指導者として活躍されています。

今回いただいたご意見については所管課と共有し、高齢者の雇用機会の拡大と高齢者の社会参加を積極的に支援するための有効な方法のひとつとして受け止め、計画の修正は行わず今後の参考にさせていただきます。

③本町に人の流れを作るには、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立する必要があるため、仕事と雇用の創出を最優先で取り組む必要があります。

そのためにも、本町の基幹産業である農林水産業だけでなく、地域生活を支える商工業等の振興を図ることが、仕事を確保する上で必要不可欠であります。

今回いただいたご意見については所管課と共有し、計画の修正は行わず今後の参考にさせていただきます。

なお、中学校では平成30年度に実習先として酪農業が含まれておりますが、中高生の職場体験の実習先として第一次産業を取り入れてほしいという意見を所管課を通じて学校長へ伝えさせていただきます。

④ご意見のとおり、高校生だけでなく、町民みんなでまちの将来について真剣に考えていかなければなりません。

湧別高校では、学年の枠を超え、地域の未来について考え、地域の担い手として、地域の活性化を目指した取り組み、郷土愛を育む授業「未来計画」を実施しておりますが、若い世代の考えを学ぶことも必要です。

今回いただいたご意見については所管課を通じて学校長へ伝えさせていただくとともに、今後のまちづくりの取組みへの有効な方法のひとつとして受け止め、計画の修正は行わず今後の参考にさせていただきます。

⑤移住・定住を推進するため、住まいの情報バンクにより町内にある空き家・空き地の物件情報を町ホームページに掲載しています。しかしながら、すべての人がインターネットを利用できるとは限らないため、雑誌に中古物件の情報を掲載するなど広く情報発信に努めており、今後は中古物件や町の支援制度などを掲載したパンフレットを作成し、移住フェアなどのイベントで配布するなどの取組みを検討しているところです。

今回いただいたご意見については所管課と共有し、移住者を増やすための有効な方法のひとつとして受け止め、計画の修正は行わず今後の参考にさせていただきます。